

公益財団法人 がんの子どもを守る会 関連プログラム
「第18回公益財団法人がんの子どもを守る会公開シンポジウム」

1) シンポジウム (公開)

「教えて！ 小児がんの最新治療」

(第55回日本小児血液・がん学会学術集会、第11回日本小児がん看護学会、第18回公益財団法人がんの子どもを守る会 合同公開シンポジウム)

日時：2013年12月1日 9:00～11:30 (予定)

会場：第1会場【1階】

座長：田口 智章 (九州大学病院 小児外科)

小児がんに関する理解しにくい最新治療について、下記の4テーマを取り上げ、先生方に一般の人にも分かりやすく概説していただくと同時に、本学術集会のテーマや議論された内容などについて概説もしていただきます。

1. 131I-MIBG アイソトープ内照射療法 (金沢大学附属病院核医学診療科：萱野大樹先生)
2. 陽子線治療 (筑波大学放射線腫瘍科：櫻井英幸先生)
3. ハプロ移植 (福島県立医科大学小児科：菊田敦先生)
4. 免疫療法 (大阪大学医学系研究科小児科：橋井佳子先生)
5. 学会サマライズ (九州大学病院小児外科：田口智章先生)

2) ワークショップ「きょうだいについて語ろうーガイドライン作成に向けて」(公開)

日時：2013年12月1日(日) 14時20分～16時20分

場所：第1会場【1階】

がんの子どもを守る会では2000年に「小児がん患児・家族の支援に関するガイドライン」を、2002年に「がんの子どもの教育支援に関するガイドライン」、2006年に「小児がん経験者のためのガイドラインーよりよい生活をめざしてー」、そして2010年に「この子のためにできること 緩和ケアのガイドライン」を発行し、活用されています。このシリーズとして次に「きょうだいのためのガイドライン (仮)」の発行の計画を進めています。

そこで、本セッションではきょうだいについて広く様々な立場から意見交換を考えております。実際に小児がんのこどものきょうだいと携わっている方及び当事者(①小児科医、②小児がん経験者、③親、④小児がん経験者のきょうだい児、⑤小児がんできょうだいを亡くしたきょうだい児の5名)からの経験を発表いただき、広く参加者の皆さまからのご意見や支援のあり方、ガイドラインに求められることなどのご意見を伺い、ガイドラインの礎とさせていただきたいと思っております。

3) 個別相談会 (非公開)

日時：2013年11月30日(土) 随時

患児家族が医療・生活についてのご不安を個別にご相談できる場を設ける予定です。事前に(公財)がんの子どもを守る会へお申込みいただいた方を対象にしています。

4) 絵画展

日時：2013年11月29日（金）～12月1日（日）

開催時間：11月29日（14時～18時）、30日（9時～18時）、12月1日（9時～16時）。

場所：榆・楓【1階】

小児がんの子どもたちが描いた原画約50点をキャプションとともに展示します。子どもたちの息吹を肌で感じてください。

5) チャリティイベント

参加費はすべて当会にて小児がん患児・家族のために活用いたします。

・チャリティマラソン&ウォーキング

日時：12月1日（日）7時30分スタート（スタート15分前に集合）

コース：シーサイドももち（最長約2km）の海沿いの素敵なコース

集合／解散：Hilton 福岡シーホークホテル1階

参加費：500円以上のご寄付をお願い致します（ドリンク・記念品付きの予定）

その他：更衣室のご用意はありませんのでご注意ください。

事前申し込みは致しませんので、直接お越しください。

・チャリティ階段昇降

日時：12月1日（日）11時～12時

コース：Hilton 福岡シーホークホテル非常階段（階段を登りきる）

集合／解散：開催時間内に随時スタートです。ご都合のよい時間にお越しください。

参加費：500円以上のご寄付をお願い致します（ドリンク・記念品付きの予定）

その他：更衣室のご用意はありませんのでご注意ください。

事前申し込みは致しませんので、直接お越しください。

6) 小児がんに関する当事者団体や支援団体などの紹介ブース（コーナー）

各団体の資料を設置しております。ご自由にお持ちください。